

岩手大学情報メディアセンター図書館 自然災害関連資料 収集・公開の取り組み



2014年2月18日 被災地図書館との情報交換会
@人と防災未来センター
岩手大学研究交流部情報メディア課
図書館資料管理グループ
遠山正宏



2. 対象資料について

- ・東日本大震災に関するもの
 - ・東日本大震災に限らず、自然災害全般に関する資料
- ※岩手県は、以前から地震、津波、火山、冷害、土砂災害などの自然災害が多く、学内既存の「自然災害資料活用センター」には、部局を超えて、学内の自然災害研究者が関連資料を収蔵していた。が、未整理だった
→図書館収集資料と合わせて、データベース化(予定)
※2013年8月9日の大雨洪水被害も対象としている

3



1. 収集資料の現状について

- ・図書 1,634点
(内2011年4月以降受入:1,417点)
- ・雑誌 95点
- ・OPAC外資料 約1,160点
(行政資料、各種報告書、チラシ等)
- ・電子資料 約150点
(写真データ1,000点含む)
- ・非公開資料 約3,300点
(2014年2月10日現在)

2



3. 収集・整理体制

- ・専任1名(非常勤)
- ・岩手県の自然災害と東日本大震災に関する資料リポジトリ(<http://rddd.iwate-u.ac.jp/>)で登録・公開している
- ・岩手大学地域防災研究センターと協力し、被災地における資料の収集に努めている
- ・情報源は、テレビや新聞などのマスメディア、学会誌、各機関のWebサイトなど
- ・学内で生産された資料は、6部の提供を依頼(内3部を岩手県立図書館に提供)

4

4. 2013年度の主な動き

- ・4月，岩手県の自然災害と東日本大震災に関する資料リポジトリ
(<http://rncdd.iwate-u.ac.jp/>)を開設
- ・5月，NDL「ひなぎく」との連携を検討開始
- ・8月，県央に被害をもたした大雨洪水に関する資料を対象に追加
- ・12月，東日本大震災直後の新聞各紙（4～13ヵ月分）を製本し，永年保存とする



5. 今後の課題

- ・効率的な情報の入手方法
- ・効率的な資料の収集・整理方法
- ・対象資料の見直し
- ・継続性(人員、予算、スペース)
- ・ひなぎく等、関連機関との連携



4.

岩手県の自然災害と東日本大震災に関する資料リポジトリ

この「リポビッド」は、岩手大学健康福祉学センター図書館、岩手大学地域国際研究センターが所蔵する、岩手県の自然史図および『日本大震災（2011）』に関する資料を抄録できます。

[illegible]

岩手県の自然災害と東日本大震災に関する資料リポジトリ
(<http://rncd.iwate-u.ac.jp/>)



ご清聴、ありがとうございました。

